

発掘成果をふりかえって 2019

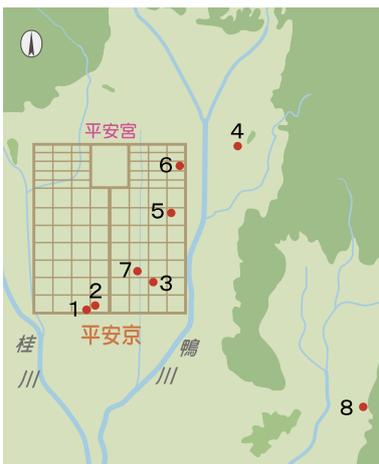
<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(公財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



1 平安京右京九条二坊四町跡・九条大路跡・唐橋遺跡 南区唐橋大宮尻町（元京都市立洛陽工業高等学校）

平安京南辺の九条大路と羅城（築地塀）の基底部とみられる遺構を初めて確認した。平安京ではこれまでに東・西の京極大路と北辺の一条大路が見つかっており、今回の発見で四辺すべてを確認することができた。九条大路の路面には小礫が敷かれていた。



発掘調査の位置

2019年の発掘調査では、九条大路と羅城とみられる遺構を検出しました。また、西寺では講堂基壇上の礎石と塔跡推定地で壺掘り地業とみられる遺構を検出するなど、平安京の南端で大きな成果がありました。



2 史跡西寺跡・唐橋遺跡 南区唐橋西寺町

唐橋西寺公園コンド山の調査で、講堂基壇の礎石と地覆座を検出した。基壇上面には焼けた痕跡があることから正暦元年（990）の「西寺焼亡」が裏付けられた。本調査は京都市文化財保護課による西寺跡の範囲確認調査である。



3 平安京左京八条三坊一町跡 下京区木津屋橋通新町西入東塩小路町
鎌倉時代になると遺構・遺物の出土数が急増し、宅地の土地利用が本格化する。中世に七条町の開発が進んだ結果と考えられる。



4 白河街区跡・吉田上大路町遺跡 左京区吉田近衛町
鎌倉時代から室町時代の墓を数基検出した。写真は室町時代の礫を敷いた木棺墓で、木質・人骨は遺存せず鉄釘だけが残っていた。



5 平安京左京四条四坊一町跡・烏丸御池遺跡 中京区高倉通三条下る丸屋町
室町時代の高倉小路の築地と門の遺構を検出した。写真は江戸時代の花崗岩を用いた地下式の石室で、一方に階段が付く。



6 平安京左京一条四坊十五町跡・公家町遺跡 上京区京都御苑
仙洞御所庭園は江戸時代初期の小堀遠州による作庭に始まり、幾多の改修を重ねられた。写真は出島の調査状況である。



7 史跡本願寺境内 下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
南能舞台南側の土塀で江戸時代前期・後期、現代に至る変遷を確認した。現存する塀の基礎石は江戸時代後期に据えられていた。



8 史跡醍醐寺境内 伏見区醍醐東大路町
奈良街道に面した西築地を断ち割っての調査。江戸時代後期以降に造られた土塀は、室町時代の土塁の上に築かれていた。